

## 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、子育て世帯を支援するために臨時特別給付金を支給します。

次の方は給付金を受け取るための申請が必要です。対象となる世帯へは令和3年12月下旬から順次申請書をお送りしておりますので、内容をご確認いただきお手続きをお願いいたします。



ホームページ

子育て・子育て支援課 ☎23・5106

### 申請が必要な方

- ①児童が高校生等のみの世帯(児童手当を受けている世帯を除く)
- ②市内在住の公務員の世帯
- ③出生により、令和3年12月以降に児童手当の手続きをする世帯

### 支給額

対象児童1人当たり **10万円**

※令和3年9月30日時点の住所地市町村から支給されます。

### 申請期限

- ①・②の保護者は令和4年2月28日(月)
- ③の保護者は令和4年3月31日(木)まで

### その他

- DV被害によりお子さんと避難している場合、令和3年9月分の児童手当の支給を配偶者(DV加害者)が受けていても、子育て世帯への臨時特別給付金の支給を受けることができますので、お早めにご相談ください。
- 令和3年9月分の児童手当(特例給付を除く)の受給者(公務員の方を除く)の方に対しては、対象児童1人につき10万円を令和3年12月24日(金)に支給済です。



## 低所得の子育て世帯に対する

申請期限 **2月28日(月)**

## 子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少したなど家計が急変し、本給付金の支給を受けていない方で、未申請の方(子育て世帯)は申請が必要です。

給付は次の①・②のいずれか一方のみです。

### ①ひとり親世帯分

給付額 **5万円**(児童1人当たり)

※令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けた方は昨年5月20日に支給済です。



ホームページ

### ②ひとり親世帯以外の子育て世帯分

給付額 **5万円**(児童1人当たり)

※令和3年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の受給者で市民税(均等割)が非課税の方は、昨年7月20日に支給済です。



ホームページ

申請方法や給付の対象になるかどうかは、市ホームページをご覧ください。☎23・5106

子育て・子育て支援課 ☎23・5106

### 「子育て世帯への臨時特別給付金」

### 「子育て世帯生活支援特別給付金」に関する

“振り込め詐欺”や“個人情報の詐取”にご注意ください。

ご自宅や職場などに市から問い合わせを行うことがありますが、**ATMの操作をお願いすることや、支給のための手数料などの振込を求めることは絶対にありません。**

不審な電話がかかってきた場合は、すぐに☎または最寄りの警察にご連絡ください。



## 12月議会(初日)に提案した議案の概要

- 条例案(7件)
  - 制定/上田市債権管理条例
  - 一部改正/上田市職員の給与に関する条例中一部改正について ほか
- 予算案(9件)
  - 令和3年度上田市一般会計補正予算(第9号) ほか
- 事件決議案(12件)
  - 上田地域定住自立圏形成に関する協定の変更について(東御市、青木村、長和町、坂城町、立科町、群馬県嬬恋村 以上6件) ほか

**上田地域定住自立圏に対する取組**  
 現行の第2次共生ビジョンの計画期間が今年度終了することから、これまでの成果を引き継ぐとともに、構成市町村の総合計画や地方創生総合戦略の施策などを踏まえつつ、新たな地域課題にも対応した次期共生ビジョンの策定に向け協議を重ね、内容がまとまりました。次期共生ビジョンでは、直面する課題を盛り込み、相互に

**令和3年12月市議会定例会市長提案説明(要旨)**  
 未来を担う子どもたちを安心して地域内で産み育てられる環境の整備に取り組みまいります

行政管理課 ☎23・5163

**資源循環型施設の建設について**  
 情報共有を図りながら圏域として有効な取組を目指すこととしております。今後も、連携して展開する各種事業を着実に推進し、「将来にわたり安心して暮らし続けられる圏域」、また、「活力の創出による自立した魅力溢れる圏域」の形成を図られるよう、中心市としての役割を果たしてまいります。

上田地域広域連合が実施中の環境影響評価は、10月4日に長野県知事の意見が示され、配慮書の手続きが終了し、現在、方法書の作成に向けて業務を進めています。地域住民の皆様とは、引き続き「資源循環型施設整備協議会」において、定期的な協議を行っており、今後も、建設に向けてご理解をいただくため、丁寧に取組を進めてまいります。

### 脱炭素社会・ゼロカーボンシテイの実現に向けた取組

市では、SDGsの理念を踏まえ、庁内に分野横断的な施策の推進体制を構築し、地域の脱炭素と課題の解決、地方創生に資する施策を全庁体制で推進・加速化することを目的に「ゼロカーボンシテイ推進本部」を11月11日に設置しました。推進本部を実効性のあるものにするため、環境分野での幅広く高度な知見に加え、長野県副知事と環境省で在職経験を有する中島恵理氏を「ゼロカーボン推進アドバイザー」としてお迎えしました。今後は、推進本部を中心に庁内横断的な研修会などを積み重ね、脱炭素に係る意識醸成を図るとともに、

### 市立産婦人科病院事業について

少子化などにより分娩数が減少し、経営状態の悪化が継続していることや医師確保が困難な状況の中、病院の機能や果たすべき役割などの抜本的な見直しが必要であることから「市立産婦人科病院運営審議会」へ諮問し、本年2月に答申をいただきました。パブリックコメントによる市民の皆様のご意見なども考慮し「上田市立産婦人科病院のあり方の方針」を策定し、信州上田医療センターと医療機能の再編・集約化による安定的で持続可能な医療提供体制の構築などを目指して研究すること、安全・安心な地域の周産期医療提供体制の構築は「子どもが健やかに育ち、子育ての喜び・楽しさを感じられるまちづくり」の実現のための重要施策であることから、地域全体の施策として、妊娠から出産、子育てへとつながる体制づくりを進めることを基本方針とし、安心して未来を担う子どもたちを地域内で産み育てられる環境の整備に取り組んでまいります。

### 結びに

私は、上田市をより魅力的で暮らしやすいまちとするため、今日

まで市民の皆様とともに「上田再構築」による市政を担わせていただきました。この間、令和元年東日本台風災害や新型コロナウイルスの感染拡大など予期せぬ事態が続いたことから、市民の命と生活を守るための事業を最優先に取り組みできましたが、資源循環型施設の建設など大型事業については、実現に向け確固たる方向性を示せていただきました。一方で、感染症の影響により疲弊した地域経済の立て直しなど課題も数多くあり、熟慮を重ねた結果、来年度以降も市政を担わせていただくことが、私に課せられた責務であると判断しました。来年3月の市長選挙では、初心を大切に、新たな気持ちで市民の皆様への厳正な審判を仰ぎたいと考えています。今後も、市民の皆様を命を守り幸せのために、市政の進展に努めてまいります。

**行チャンネル**  
 提案説明はインターネットで動画・全文をご覧ください  
 動画はこちらから  
 ホームページ